

第69回

日本太鼓全国講習会



長崎県大村市・大村公園の桜

期 日 2023年2月11日（土）・12日（日）

会 場 長崎県大村市 シーハットおおむら

主 催  [公財] 日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

主 管 全九州太鼓連合、日本太鼓財団長崎県支部

後 援 文化庁、長崎県、長崎県教育委員会、大村市、大村市教育委員会、
一般財団法人 大村市文化・スポーツ振興財団、日本財団



公益財団法人 日本太鼓財団

理事長 大澤 和彦

公益財団法人 日本太鼓財団は、本年度設立 25 周年を迎え、新たに滋賀県、和歌山県の 2 支部が開設されました。現在 43 都道府県に 47 支部を設け、加盟団体数約 670 団体、会員総数約 18,000 人を数えております。日本の太鼓は、老若男女、また障害の有無に関わらず、国籍を問わずますます多くの方に愛好されております。

この講習会は、日本太鼓の指導者育成と太鼓技術の向上を目的として行われており、現在公認指導員 254 人（海外 22 人）、技術認定員 12,912 人（海外 2,402 人）が講習会で学んだことを活かして各地で活躍されています。本日、参加される皆さまには、公認指導員の資格を持つ素晴らしい講師の指導のもと技術を習得するだけでなく、太鼓の歴史や礼節も学んでいただきたいと思っております。さらに、今回台湾からも多くの方が参加いたします。太鼓を通じて多くの仲間と交流を図り、思い出に残る講習会になりますことを期待しております。

なお、本講習会は当財団が策定した「太鼓演奏における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づく感染予防対策を講じながら、実施いたします。参加される皆さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただければと存じます。

最後に、当財団の活動に多大なご支援をいただいております日本財団及びボートレース関係者、また本講習会にご支援ご協力をいただきました文化庁、長崎県、長崎県教育委員会、大村市、大村市教育委員会、一般財団法人大村市文化・スポーツ振興財団をはじめ、ご指導いただきます講師の先生方、そして細部にわたりお世話いただきます主管団体の全九州太鼓連合、日本太鼓財団長崎県支部の皆さまに心からお礼を申し上げます。



全九州太鼓連合

名誉最高顧問

長谷川

ただし
義

公益財団法人 日本太鼓財団主催の「第 69 回日本太鼓全国講習会」が、長崎県大村市において開催されますことは、九州 7 県の会員一同、大変喜ばしく、また光栄に存じます。

九州の地では、平成 10 年度に鹿児島県霧島市で開催された「第 2 回日本太鼓全国講習会」に始まり、以来、これまで九州で開催された全国講習会は今回で 20 回を数えます。その成果として、日本太鼓ジュニアコンクール全国大会での九州勢の成績を見れば、顕著に現れていることがよくわかると思います。

昨年 12 月に長崎県佐世保市で開催した「第 17 回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール」では各県支部大会の上位 31 チームが出場しましたが、今回はこれまでも増してレベルの向上が見られました。

その理由の一つに、各県の上位に入ってくる団体は、「基本」の重要性を理解し、よく練習しています。これも毎年九州で開催していただいている全国講習会の成果の一つだと思っています。選手である子供たちも、その指導者も和太鼓に対する正しい知識や技術を学ぶことはとても大切なことであり、重要なことです。

そういった意味で、今回開催される全国講習会は、特に意義のあるものであり、受講される皆様におかれましても、日本太鼓界のトップクラスの先生方にお集まりいただいておりますので、収穫の多い実りある講習会になると確信しております。ぜひ、多くのものを学び、身につけていただきたいと思います。

最後に、本講習会の開催にあたり、ご支援をいただきました文化庁、長崎県、大村市など、多くの関係団体の皆様に心より御礼申し上げます。

また、遠く九州の地にご足労いただきました講師の先生方に対し、心より感謝を申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。



日本太鼓財団 長崎県支部

支部長 田中俊亮

本日、「第69回日本太鼓全国講習会」が、ボートレース発祥の地、長崎県は大村市で盛大に開催されます事、大変嬉しく思います。

ここ大村市は長崎県で唯一、50年連続で人口増加しており、その理由として、空港、高速インターチェンジ等の利便性、そして昨年9月には西九州新幹線が開通し、新大村駅が誕生。そのような大都市圏へのアクセスの良さなどが挙げられます。

その大村市で日本太鼓の根源となる全国講習会が開催出来ます喜びを長崎県支部会員一同もしっかり胸に刻み、そしてメンバー一丸となりサポートさせていただきます。

この2日間は和太鼓の技術向上はもちろん、この伝統文化を未来の子供達へ伝承し、また町おこしなど地域発展に繋げる大切なプログラムの日程となっております。

この講習会に参加された全国の受講生の皆さんが習得した技や知識を持ち帰り、各チームのレベルアップ、また地域の伝統文化に役立て、日本太鼓が末永く、未来に継承されます事を期待します。そして、今回の各講座の講師も日本各地より和太鼓界を代表する先生方々にお越し頂いております。この講習会が充実した日となりますよう祈念いたします。

最後になりましたが、御尽力頂きました、公益財団法人日本太鼓財団、全九州太鼓連合、長崎県、大村市、他大勢の方々に感謝申し上げ挨拶とさせていただきます。

第69回日本太鼓全国講習会 概要

1. 目的 日本太鼓の技術向上と指導者を育成することにより、日本太鼓の普及・振興を図ることを目的として実施します。
2. 開催日時 2023年 2月 11日(土) 11:00(受付開始 9:30)
12日(日) 12:30 講習会終了
* 専門講座を受講された方は、講話(浅野昭利氏)を13:15より受講後、14:15頃の解散となります。
なお、技術認定のための検定試験は日曜の13:15より実施します。
3. 講習会場 シーハットおおむら(長崎県大村市)
4. 主催 公益財団法人 日本太鼓財団
5. 主管 全九州太鼓連合、日本太鼓財団長崎県支部
6. 後援 文化庁、長崎県、長崎県教育委員会、大村市、大村市教育委員会、一般財団法人 大村市文化・スポーツ振興財団、日本財団
7. 講習内容
 - (1) 総合指導 古屋 邦 夫 氏(財団技術委員長)
 - (2) 基本講座 3級基本講座 高 島 奈 々 氏(岐阜県)
4級基本講座 野 方 嘉 孝 氏(佐賀県)
5級基本講座(初心者講座) 松 枝 明 美 氏(長野県)
 - (3) 専門講座 単式複打法講座 菊 池 修 氏(八丈太鼓六人会・東京都)
複式単打法講座 河 合 朋 宣 氏(越中いさみ太鼓保存会・富山県)
複式複打法講座 長谷川 義 氏(豊の国ゆふいん源流太鼓・大分県)
専門講座講話 浅 野 昭 利 氏(石川県)
8. 公認指導員昇級試験
本講習会において公認指導員の昇級試験として講習内検定を実施します。
9. 受講者数 約200名
10. 受講に際して
 - (1) 講座は、途中で変更することは出来ません。
 - (2) 講習途中の出入り、見学等は出来ません。
 - (3) 受講中は、休憩時間を除き喫煙、飲食等を禁止します。
 - (4) 受講時の太鼓等の移動は、受講者が積極的に行ってください。
 - (5) 受講者は、運動着、運動靴、筆記用具、バチを持参してください。
なお、各基本講座の受講者は次の指定バチをそれぞれ1組持参してください。
カシバチ 太さ 7.5分~8.0分 長さ 1尺3寸~1尺4寸
太さ 6.0分~6.5分 長さ 1尺3寸~1尺4寸
* 専門講座については開催要項をご参照下さい。
 - (6) 会場内で、太鼓関係物品の展示及び販売もいたしますので、ご利用下さい。

11. 生活上の心得

- (1) 団体生活においては、秩序と礼儀、協力と責任が基本条件になることを十分に認識して自分の行動を律して下さい。
- (2) 講師や受講生と積極的に語り合い、交流の輪を広げることが講習会の成果を大きく左右します。
- (3) 金銭等の貴重品は必ず身につけて下さい。
- (4) 事故等が発生したら直ちに本部に連絡して下さい。
- (5) 宿泊のマナーには十分気をつけて下さい。
万一の場合に備えて避難口を確認して下さい。室内の整理整頓に心がけて下さい。
- (6) 健康には留意し、特に睡眠時間を十分にとるようにして下さい。
万一体調をくずした場合は早めにお申し出下さい。

12. 講習曲使用について

講習会において使用した曲を講習会以後に演奏したい場合は、財団事務局までお問合せ下さい。

13. 技術検定 <受検希望者は、下記項目をご確認下さい。>

(1) 受検資格並びに方法

○1級技術検定

2級技術認定員のみ受検できます。打法の異なる専門講座に3回合格する必要があります。
専門講座のうち一つを受講して下さい。
なお、最終検定を受ける方は、論文（1,400～1,600字程度・テーマは日本太鼓の効用に関する内容）の提出が必要です。

○2級技術検定

3級技術認定員のみ受検できます。打法の異なる専門講座に2回合格する必要があります。
専門講座のうち一つを受講して下さい。
なお、最終検定を受ける方は、論文（600～800字程度・テーマは日本太鼓に関する内容であれば自由）の提出が必要です。

* 1・2級技術検定において全打法（単式単打・単式複打・複式単打・複式複打）の専門講座を受講する必要があります。

* 1・2級最終検定の論文は、400字詰め原稿用紙を使用して下さい。（パソコンで作成の場合、マス目付き原稿用紙に設定して下さい。）

○3級技術検定 4級技術認定員のみ受検できます。

○4級技術検定 5級技術認定員のみ受検できます。

○5級技術検定 10歳以上であれば初心者を含めどなたでも受検できます。

（2023年4月1日までに10歳を迎える方も含みます。）

(2) 技術検定料は一律2,000円、講習内検定料は一律5,000円です。

(3) 認定料は、合格者に限りその場で必要となります。

1級認定料 20,000円、 2級認定料 10,000円、 3級認定料 8,000円、

4級認定料 5,000円、 5級認定料 3,000円

(4) 検定試験の際は必ず各講座の指定バチをご使用下さい。

(5) 直接検定試験を受ける方は、受付で受検方法を確認して下さい。

(6) 基本講座は「日本太鼓教本」が一人一冊必要となります。お持ちでない方は、受付でお求め下さい。

第69回日本太鼓全国講習会・日程表

第1日目 2023年2月11日(土)

時 間	進 行	シーハットおおむら	備考
9:30	受付開始 受付次第、更衣室で着替えを済ませ、待機して下さい。 私物は個人で管理して下さい。		
	*男子更衣室:		
	*女子更衣室:		
9:40	*講習内検定者打合せ会(基本講座講師・講習内検定参加者)		
11:00	開会式 国歌清聴 あいさつ (公財)日本太鼓財団 大澤 和彦 理事長 全九州太鼓連合 長谷川 義 名誉最高顧問 日本太鼓財団長崎県支部 田中 俊亮 支部長 来賓・役員・講師紹介 閉会の辞		
11:30	講師模範演奏 オリエンテーション 記念写真(講座別)		
12:00	昼食・休憩 *昼食後、各会場へ移動		
13:00	総合指導 講師:古 屋 邦 夫 氏		
	3級基本講座 講師:高 島 奈 々 氏		
	4級基本講座 講師:野 方 嘉 孝 氏		
	5級基本講座 講師:松 枝 明 美 氏		
	単式複打法講座 講師:菊 池 修 氏		
	複式単打法講座 講師:河 合 朋 宣 氏		
	複式複打法講座 講師:長谷川 義 氏		
18:00	講習終了 講習内検定反省会:		
備考	宿舎では、マナーを守って生活して下さい。		

第2日目 2023年2月12日(日)

時間	進行	シーハットおおむら	備考
8:45	朝の集い(体操用に運動着を着用のこと) *荷物は各講習会場に持参		各会場
9:00	総合指導 講師:古屋邦夫氏		
	3級基本講座 講師:高島奈々氏		
	4級基本講座 講師:野方嘉孝氏		
	5級基本講座 講師:松枝明美氏		
	単式複打法講座 講師:菊池修氏		
	複式単打法講座 講師:河合朋宣氏		
	複式複打法講座 講師:長谷川義氏		
11:00	講習終了 成果発表会準備		移動・準備
11:30	各講座成果発表会(1・2級技術検定試験)		
12:15	閉講式 あいさつ (公財)日本太鼓財団 日本太鼓財団長崎県支部		
12:30	昼食・休憩		
13:00	専門講座成績発表		
13:15	専門講座講話 講師:浅野昭利氏		

<以降、検定受検者のみ>

13:00	検定試験説明		
13:15	検定試験(筆記) 5級→3級→4級 終了次第、実技試験を受検		
	検定試験(実技) 4級→3級→5級 終了次第、学科試験を受検 受講待機場所:		
15:00 (予定)	成績発表 (全員) *合格者は手続き終了後解散		
15:30 (予定)	終了		

講師プロフィール



総合指導

講師 古屋 邦夫

御諏訪太鼓保存会（長野県）会長
（公財）日本太鼓財団技術委員会委員長
（公財）日本太鼓財団1級公認指導員
中日本太鼓連合 会長

- 1967年6月に御諏訪太鼓に入門、宗家小口大八氏に師事、以来今年で太鼓歴56年を数える。
- 1970年より宗家小口大八氏と共に岡谷太鼓の指導を始める。信州太鼓連盟（現在の長野県太鼓連盟）の発足に携わる。
- 1978年10月、長野県やまびこ国体で集団演技太鼓の部で県内チームを指導する。以降、各地の団体を指導し、その数170チームを数えている。また、海外でも数多くの公演を行い多くの海外チームを指導している。
- 1998年2月に開催された長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2,000人太鼓等の指導を行った。
- 1998年4月から当財団の技術委員会委員として活躍している。
- 2001年4月下旬～5月上旬にかけ、バルト3国（リトアニア、ラトビア、エストニア）におけるユネスコ会議等での公演に参加。
- 2008年10月から長野県支部支部長、御諏訪太鼓保存会会長に就任。
- 2019年3月に中日本太鼓連合会長に就任。



基本講座

「3級基本講座」

講師 高島 奈々

岐阜神代響太鼓（岐阜県）代表
（公財）日本太鼓財団1級公認指導員
日本太鼓財団岐阜県支部 事務局長

この講座は、3級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 1994年 岐阜市地元保存会に加入し太鼓をはじめ。
- 1995年 奥州猿羽流 宗家：龍連山氏を師事とし大太鼓道を習得。
その後、組太鼓を御諏訪太鼓保存会宗家である故・小口大八氏と古屋邦夫氏に、盆太鼓を助六太鼓家元今泉豊氏に師事。
また現在の（公財）日本太鼓財団が全日本太鼓連盟であった時代から姉妹で講習会に参加。日本太鼓資格認定制度開始以来、初めて5級技術認定員から1級公認指導員までを取得した。
- 1998年 長野冬季五輪閉会式の出演を機に故・小口大八氏より「岐阜神代響太鼓」と名を頂き姉妹で太鼓活動を始める。
- 2003年4月 日本太鼓財団岐阜県支部・岐阜県太鼓連盟の理事就任。
- 2007年5月 財団創立10周年記念日本太鼓フェスティバルに岐阜県より出演。
- 2009年7月 カルチャースクールにて太鼓教室を開講、太鼓の楽しさを伝え普及に努める。
- 2017年11月 財団創立20周年記念日本太鼓フェスティバルに岐阜県より出演。

講師プロフィール



基本講座

「4級基本講座」

講師 野方 ^{よし} ^{たか} 嘉孝

大和太鼓保存会（佐賀県）代表
日本太鼓財団佐賀県支部 支部長
（公財）日本太鼓財団1級公認指導員
全九州太鼓連合 理事長

この講座は、4級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 1989年佐賀県大和町街おこし事業の一環に大和太鼓保存会を結成。
創立メンバーにて1998年4月会長就任。
- 2010年1月佐賀県太鼓連合会長就任。
（2010年3月佐賀県太鼓連盟を吸収合併）
- 2012年5月全九州太鼓連合副会長就任。
- 2016年12月第13回日本太鼓シニアコンクール優勝、名人位習得。
文部科学省大臣賞受賞。
- 2022年5月全九州太鼓連合理事長就任。



基本講座

「5級基本講座」

講師 松枝 明 美

和太鼓すわびと（長野県）代表
（公財）日本太鼓財団技術委員会技術委員
（公財）日本太鼓財団1級公認指導員

この講座は、5級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 1980年3月に御諏訪太鼓に入門、宗家である小口大八氏に師事、以来今年は太鼓歴43年を数える。
- 福島県の指導を皮切りに県内外チームに指導に努め、すでに100チームを越える。また、海外でも数多くの公演を行い、多くの海外チームを指導している。
- 1998年2月に開催された長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2,000人太鼓等の指導を行う。
- 2007年3月ブラジル訪問。移民100周年記念1,000人太鼓の合同曲及び太鼓講習会で指導を行う。2020年2月には2回目のブラジル訪問。ブラジル太鼓講習会で講師を務める。
- 2007年12月台湾にて「第1回全台湾太鼓講習会」開催に伴い講師として訪問。依頼毎年講師を務め指導に携わる。
- 2008年10月～2020年3月まで長野県支部事務局長、御諏訪太鼓保存会副会長を歴任。
- 2020年4月に和太鼓すわびとを立ち上げる。

講師プロフィール



専門講座 単式複打法講座

講師 菊池 修

八丈太鼓六人会（東京都）代表
（公財）日本太鼓財団1級公認指導員

南国情緒豊かな八丈島は、関ヶ原合戦に敗れた宇喜田秀家公が流された流人の島として知られています。八丈太鼓の原点は、武器（刀）を失った流人が、そのうっぷんを太鼓のバチに託して打ち鳴らしたもので、打つ様と響きは血湧き、肉踊る感じを覚えさせてくれます。一つの太鼓を二人で表（上拍子）と裏（下拍子）を打つ両面打ちから生まれる独自のリズム、太鼓の音にあわせて歌われる太鼓節は東京都の無形文化財に指定されています。

八丈太鼓のシンプルさと自由奔放に打ち鳴らす形が他の地域では見られないもので、日本の太鼓の中でも独自の位置づけをなされています。現在の六人会は、菊池修を中心に13名のメンバーが国内外を問わず広く演奏活動しています。

- 1955年、東京都八丈島に生まれる。11才の頃から太鼓好きの大人のなかに入り、兄弟にて打ち始める。中学・高校・社会人と兄弟太鼓で全国各地へ。
- 1981年に同年代の太鼓好きの仲間を集い、八丈太鼓六人会を結成する。最初は6名で始めたメンバーも現在は13名と徐々に増えている。
- 八丈島の太鼓代表として国内はもとより各国からの要請で演奏活動を行っている。



専門講座 複式単打法講座

講師 河合 朋 宣

越中いさみ太鼓保存会（富山県）会長
（公財）日本太鼓財団3級公認指導員
富山県太鼓協会 理事長

- 1977年 富山県砺波市に生まれる。
- 1981年 父親に連れられ越中いさみ太鼓保存会に入会する。
- 2000年 第26回富山県太鼓打ち競技会にて初優勝。
- 2010年 第33～35回富山県太鼓打ち競技会3年連続優勝により、富山県太鼓協会より7代名人位を授与される。
- 2017年 管弦楽団、日本舞踊、バレエ等多彩なジャンルが融合し作り上げられた音劇「北前船」へ太鼓奏者として参加する。
- 2021年 越中いさみ太鼓保存会会長に就任する。
- その他、富山県太鼓協会主催の「富山の太鼓」の総合演出や、多くの団体への指導等を行っている。

講師プロフィール



専門講座 複式複打法講座

講師 長谷川 ただし 義

豊の国ゆふいん源流太鼓（大分県）代表
（公財）日本太鼓財団 会長
（公財）日本太鼓財団 1 級公認指導員
全九州太鼓連合 名誉最高顧問

九州の温泉地として有名な由布院は大分県の中央部に位置し、豊後富士といわれる由布岳の裾野、海拔 500 m の静かな町です。

ゆふいん源流太鼓は、地元で 400 年という長い歴史の中を名も無く、営々と打ち鳴らされてきたと伝えられる由布院のリズムを現代に引き継ごうと 1979 年に誕生しました。由布岳の裾野に毎夜集まり、四季折々の自然を相手に練習しながら、身体の中から古代のリズムを再現しています。世界中に、ゆふいんの音色が響きわたる日を楽しみに活動しています。



専門講座 「専門講座講話」

講師 浅野 昭 利

（一財）浅野太鼓文化研究所 理事長

石川県白山市生まれ。慶長 14（1609）年より続く和太鼓製造技術を継承するとともに太鼓文化の振興と発展を目指し、太鼓演奏団体の養成や指導者育成、太鼓関連書籍の出版、イベント開催、講演活動などを行う。一般財団法人 浅野太鼓文化研究所理事長、浅野太鼓祭司株式会社代表取締役社長、太鼓の泉響和館代表、NPO 法人おやこの広場あさがお理事長も務める。2006 年経済産業省より「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業 100 社」表彰、2007 年白山市より地域文化賞受賞。

日本太鼓資格認定制度

本制度は、公益財団法人日本太鼓財団の寄付行為及び日本太鼓資格認定規程並びに日本太鼓資格認定規程細則で詳しく定めている。

主な内容は次のとおりである。

1. 本制度は、指導員としての資格について認定する「公認指導員」と演奏者としての技術水準の資格について認定する「技術認定員」の2つに区分される。
2. 公認指導員は、次の4つに区分され、それぞれ資格を有する。
 - (1) 特別公認指導員は、当財団が特に認めた者で、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員としての資格を有する。
 - (2) 1級公認指導員は、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員の資格を有する。
 - (3) 2級公認指導員は、当財団及び支部が主催する全ての講習会における基本打法担当講師、検定員としての資格を有する。
 - (4) 3級公認指導員は、支部が主催する講習会における基本打法担当講師としての資格を有する。
3. 技術認定員は、次の5つに区分される。
 - (1) 1級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確かつ優秀である者をいう。
 - (2) 2級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確である者をいう。
 - (3) 3級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得し、かつその演奏が優秀である者をいう。
 - (4) 4級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得した者をいう。
 - (5) 5級技術認定員は、基本打法の基礎を習得した者をいう。
4. 認定試験の受験資格は、次のとおりである。
 - (1) 1級公認指導員は、現に2級公認指導員であり、30歳以上の年齢に達した者。
 - (2) 2級公認指導員は、現に3級公認指導員であり、20歳以上の年齢に達した者。
 - (3) 3級公認指導員は、現に1級技術認定員であり、20歳以上の年齢に達した者。
 - (4) 1級技術認定員は、現に2級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (5) 2級技術認定員は、現に3級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (6) 3級技術認定員は、現に4級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (7) 4級技術認定員は、現に5級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (8) 5級技術認定員は、10歳以上の年齢に達した者。

公益財団法人日本太鼓財団概要

<設 立 日> 1997年11月11日

<公益財団移行日> 2012年 4 月 1 日

<資 産> 基本財産 3億円

<加盟支部数> 47支部 (43都道府県)

<加盟団体数> 約670団体

<会 員 総 数> 約18,000人

<役 員> 会 長 長谷川 義 豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉最高顧問
理 事 長 大澤 和彦 常 勤
副 会 長 高野 右吉 高野右吉と秩父社中代表
常務理事 佐々城 清 常 勤
理 事 浅野 昭利 (一財) 浅野太鼓文化研究所理事長
理 事 石井 幹子 (株) 石井幹子デザイン事務所代表取締役社長
理 事 中西 由郎 元 (一財) 日本モーターボート競走会監事
理 事 山内 強嗣 (福) 富岳会理事長

<評 議 員> 評 議 員 岩切 邦光 全九州太鼓連合会長
評 議 員 岡田 知之 元 (公社) 日本吹奏楽指導者協会会長
評 議 員 河合 睦夫 越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
評 議 員 佐藤 淳子 元 (一財) ライフ・プランニング・センター理事
評 議 員 高島 肇久 (学) 津田塾大学理事
評 議 員 古屋 邦夫 御諏訪太鼓保存会会長・中日本太鼓連合会長
評 議 員 宮崎 義政 銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長

<監 事> 監 事 伊藤 勝彦 弁護士 ITN法律事務所
監 事 竹村 葉子 弁護士 三宅・今井・池田法律事務所

(五十音順・敬称略)

2022年度の主な事業活動

◇日本太鼓ジャンボリー2022

期 日：2022年4月26日(火)
場 所：国立劇場大劇場(東京都千代田区)
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：11団体

◇第7回大学太鼓フェスティバル

期 日：2022年8月26日(金)
場 所：江戸川区総合文化センター(東京都江戸川区)
共 催：大学太鼓連盟
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：12団体

◇第24回日本太鼓全国障害者大会

期 日：2022年10月23日(日)
場 所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)
共 催：社会福祉法人 富岳会
主 管：日本太鼓財団静岡県支部
出場団体：18団体

◇第6回浅草太鼓祭

期 日：2022年11月3日(木・祝)
場 所：隅田公園山谷堀広場(東京都台東区)
主 催：浅草太鼓祭実行委員会、公益財団法人 日本太鼓財団
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：12団体

◇美ら島おきなわ文化祭2022「太鼓の祭典」

期 日：2022年11月6日(日)
場 所：名護市民会館 大ホール(沖縄県名護市)
主 催：文化庁、厚生労働省、沖縄県、沖縄県教育委員会、名護市
名護市教育委員会、美ら島おきなわ文化祭2022 沖縄県実行委員会
美ら島おきなわ文化祭2022 名護市実行委員会、公益財団法人 日本太鼓財団
主 管：日本太鼓財団沖縄県支部
出演団体：27団体

◇第19回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2022年11月20日(日)
場 所：こまつ芸術劇場うらら(石川県小松市)
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団、公益社団法人 石川県太鼓連盟、
一般財団法人 石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：28団体

◇第25回日本太鼓ジュニアコンクール(予定)

期 日：2023年3月19日(日)
場 所：金沢歌劇座(石川県金沢市)
主 管：公益社団法人 石川県太鼓連盟、日本太鼓財団石川県支部
出場団体：46団体

講習会開催予定一覧

日本太鼓全国講習会（財団主催）

◇第70回日本太鼓全国講習会

期 日 2023年8月頃

開催地 東北地区

◇第71回日本太鼓全国講習会

期 日 2024年2月頃

開催地 九州地区

*各講習会のお問い合わせは、(公財)日本太鼓財団公式サイトまたは財団事務局
(Tel. 03-6205-4377) までお願いします。

公認指導員・技術認定員の現在数

(2023年2月現在)

区分 級	公認指導員	技術認定員
1級	49名	208名
2級	33名	439名
3級	172名	1,489名
4級	—	2,676名
5級	—	8,100名
計	254名	12,912名



〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2
Toranomom 1-11-2, Minato-ku, Tokyo 105-0001, Japan
Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378
URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail: info@nippon-taiko.or.jp